

## 「教職実践演習」講義まとめ

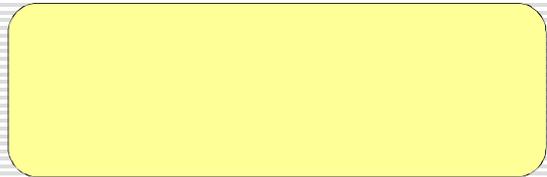
本講義 & 4年間の教職を  
総括しましょう！



平成28年度名城大学教職課程  
教職実践演習II(最終講義)  
教職センター 曾山和彦



## 本時の目標



## 本講義の目標

- 教職課程の講義、教育実習等を通じて、教員としての最小限必要な資質能力が身についたかどうかを確認すること

目指した「ゴール」はこれ！



## 教職4年間の学びの確認



- 教職関連科目(原理、法規、心理、入門、学校教育相談、特別活動の指導法等)
- 教科関連科目( 科指導法等)

< 演習 ; 教職課程の講義を振り返る >

- ・印象深い講義や演習は何か？
- ・自分や他者について気づいたことは何か？

\* 個人      グループ

## 社会に出る君たちに伝えたい 7つの「もってほしいもの」

- 石橋を叩いたら渡る勇気をもつ
- 「自分辞書」をもつ
- メンターをもつ
- エンカウターの機会をもつ
- 教養をもつ
- トリガー・フレーズをもつ
- 「幸せになる」という強い気持ちをもつ

## その1 ; 石橋を叩いたら渡る勇気をもつ

- 渡る前に「叩く」ことは必要。ある程度、叩いたら渡ってみる。橋が落ちたとしても君たちなら泳ぐだけの「体力(学び、経験等)」はある

人生は「偶然」の出来事や出会いなどによって決まることが多い

「偶然」を「必然」に変えるには  
・直感を重視    ・他者実現の価値観    ・他者に心を開く・楽しむ

動けば「出会い」やすくなる！



## その2;「自分辞書」をもつ

私なら



様々な事柄を、「自分の言葉」で伝えられるようにしておく

- 友だち;
- 教養 その5で紹介
- 幸せ;

## その3;メンターをもつ

君たちのメンターは？



ホメロスの叙事詩『オデュッセイア』に、オデュッセウスがトロイ戦争に出陣するとき、自分の子どもを託した優れた指導者メンートル(Mentor)に語源の由来がある。「恩師」「師匠」「助言者」の意。



私は國分康孝先生(東京成徳大学名誉教授)の思想・哲学・立ち居振る舞いの全てを範としている

## その4;エンカウターの機会をもつ



人・自然・文化等へのエンカウターを!



<私の講義を受けたある学生の振り返りから>  
人とかがわればかかわるほど、人とかがわったときに光る自分になれると確信した!

## その5;教養をもつ

池上彰先生に学びました



教養とは、

教養をもつための一番の方法は「本を読むこと」。  
本は「人」。本を通して、それを著した人に出会う。  
著者と、時代、国、文化等を超えた「対話」ができる

<演習> お薦め図書紹介!

## その6;トリガー・フレーズをもつ

本田直之氏に学びました



トリガーとは「銃の引き金」。トリガー・フレーズとは「一瞬で自ら動き出す契機となり、自分にスイッチを入れる言葉」の意。例;「その人がどれだけの身の程かなんて、やってみなければわからない」「好きを仕事にせず、仕事を好きになる」「『今度』『近いうち』は永遠に来ない」等々

<2017 私のトリガー・フレーズ>

## その7;「幸せになる」という強い気持ちをもつ

論理療法より



幸せになるか、不幸になるかは自分が決めている。人生は考え方ひとつ

幸せになる一番の近道は  
(アランの「幸福論」より)

ノーマン・カズンズの名著;「笑いとお癒力」もお薦め!